

逕信の知識 (七)

須川邦彦

それから六年の後、一八六五年、慶應三年一月一日、亞米利加の太平洋汽船會社(ビー・エム・エム社)は太平洋横断定期航路を開く目的で排水量三千七百噸の汽船、外輪車と帆とを裝備したコロラド號を横濱へ向け桑港を出帆せしめた。一月三十日不意に横濱本牧沖に姿を現はしたコロラドを見て、濱の人々の驚いた事は想像に餘りある。本船は桑港を経て八十日に桑港に歸着したが、この時桑港市民はコロラド號を歓迎して太平洋横断航路開始は桑港の繁榮を招来するものとして二日間休業して祝つたと言はれて居る。

マル、ペンシヨ、ペンシヨ、ペンシヨ、だれが「太平洋」と日本語の名をつけたか。慶應三年十月福澤先生が「太平洋」と譯して「西洗旅案内」に記載して世間に公にされたのが最初で、其後、海と洋との大小の概念から海がいつしか洋となつて「太平洋」となつた。

日本は世界の強國となり、世界は太平洋時代となつた。今や我國は新東亞の建設に邁進し、建國二千六百年の皇統恢宏緒述して、一大飛躍を遂げようとして居る。然して太平洋問題は極めて重大且つ深刻である。一億同胞は我等の太平洋に關して眞剣な覚悟が必要だ。

太平洋行進曲と愛國行進曲は國民高らかに愛誦して居る勇ましい軍艦マーチをきくに、今更、思ひ出されるのは明治四十二年筆者が、シヤトルで居る日本人諸君の誰彼から度々聞かされた話である。

阿蘇。津輕の練習艦隊が北米シヤトルを訪ねた時、附近都市の在留日本人はアトキムムの招

待を受け婚々として旅艦に集り母國に歸つた気分になつて心盡しの歡待に上機嫌であつた。

御料理
むぎとろ
さつき
平市紅小路 電話四八八

釜屋商店
電話九・九九番

債券・公債
兩替・金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一

牛豚
平市田町
三三三三屋
電話三三三番

御誂の既製品
電話三八六番

ダンス・鏡臺
御婚禮調度品を
取揃へました
是非
和久井屋
御越下さい
平市一丁目 電話四〇五番

コック見習
女給さん
至急募集
平市四丁目
十一屋食堂
電話三七三番

水の御用は
電話二二三番
魚問屋へ
總節製造販賣
(日本生命平代理店)
平市四丁目
志賀盛榮商店

三百年の歴史を有する
家傳靈藥
相馬ハンサキ
消食散
(二名かけの藥)
丸龜商店
平市大町 電話一三三番

内臓外科
北川外科
醫學博士
北川芳夫
平市新川町 電話四六四

耳鼻咽喉科
醫學博士 増田之
平市紺屋町 電話六五一

内臓外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
醫學博士 松村亨
平市南町 松村醫院外科部

コーライト
木炭・豆炭・コークスノ代用燃料
三菱コーライト
申上マス
特長：火力強く、火持ちヨク、木炭ノ半値、御使用ハ御家庭用ノコノ口、火鉢、鍛冶用、一俵(五〇キロ)カラ配達致シマス
ドウゾ御注文下サイ
昭和十五年六月
平市田町一
阿部石炭商店
電話一三七番

二葉滋養治療所
平市太町 電話一九三番

美味で滋養に富み安價で便利な
國策に添ふ理想的調味料を
御愛用願ひます。知らずくは丈夫になる
天與の食品
滋養調味料
出しの素
一、原料 本品は太平洋の新鮮なる魚を加工し之を乾燥機にて十二分に火力乾燥製粉したもので、化学的の調味料でなく天與の食品品であります。
一、特長 本品は最も安價にして少量で即座にタンシが良く出て滋養に富み御便利ですから經濟上にも体位向上にも總じて適當な食品です。
一、用法 味噌汁には水一升量に付約三勺、味噌汁には米一升に付約五勺、野菜色々の味噌汁には十人前も別々です。又温かい御飯、漬物等に振りかけて召上下さい。其の他總じての味付に御使用願ひます。
一、分量 大量炊事の場合は約半分分で充分です。此の分量は標準です。味のお好みにより御減下下さい。大量炊事の場合は約半分分で充分です。
一、保存 濕氣を帯びないやうに密封に入れて置いて美味し召上つて下さい。
一、注意 他に類似品がありますから商標に御注意し印を御愛用願ひます。
平市五丁目 小名濱町 商店
四倉町 子屋 伊藤商店
大浦村信用組合

今井商店
製造 販賣元
一袋廿錢
宮城縣 今井商店
電話一三二八番
電話一三五〇番
電話一三五三番
電話一三五五番
電話一三五七番
電話一三五九番
電話一三六一番
電話一三六三番
電話一三六五番
電話一三六七番
電話一三六九番
電話一三七一番
電話一三七三番
電話一三七五番
電話一三七七番
電話一三七八番
電話一三九〇番
電話一三九二番
電話一三九四番
電話一三九六番
電話一三九八番
電話一四〇〇番

今井商店
電話一三五八番

これは便利!
★手を荒さず
★絹毛織物、木綿、スワの生地を傷めず
★つけておくだけで洗へる
マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町一

マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町一